

# 第 16 期 事業報告

(2020 年 11 月 1 日～2021 年 10 月 31 日)

## 1. 会員加入状況報告

2021 年 12 月 17 日現在の会員加入状況は表 1 の通りである。

表 1：会員加盟状況

区分	第 16 期会員数	第 15 期会員数
正会員（個人）	18	22
正会員（団体）	5	5
賛助会員(個人)	1	2
賛助会員(団体)	7	7

### ■ 正会員(個人)

- ・ 退会 5 名については、継続して 2 年以上会費を滞納されたため、資格の喪失(定款第 9 条第 3 項)の処理を行ったものである。
- ・ 入会 1 名

### ■ 賛助会員(個人)

- ・ 退会 1 名については、継続して 2 年以上会費を滞納されたため、資格の喪失(定款第 9 条第 3 項)の処理を行ったものである。

## 2. 事業報告（概要）

### 1 事業収益の概要

第 16 期の事業収益は、収入 71,751 千円、支出 69,719 千円、収支 2,032 千円となり、収入は事業計画及び第 15 期実績(58,641 千円)を大幅に上回った(表 2)。なお、新プロダクト開発のため、eラーニング教育手法の研究事業において、積極的な投資を行った結果、支出について、事業計画及び第 15 期実績を上回った(図 1)。そのため、収支は事業計画及び第 15 期実績を下回ることとなったものの、収支均衡を達成することができた。

表 2：事業収支（千円）

区分	第 15 期実績	第 16 期事業計画	第 16 期実績
収入	58,641	66,099	71,751
支出	55,322	59,610	69,719
収支	2,659	6,489	2,032

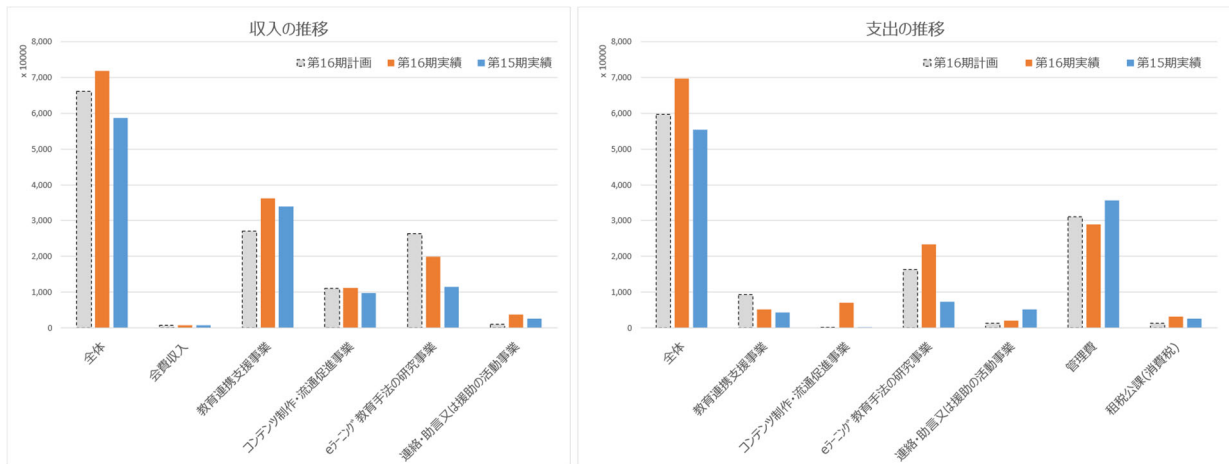


図 1：事業別収支

## 基本方針

### ■ 組織体制の強化

外部機関から、システム開発を受託することで新プロダクト開発を積極的に行った。プロダクトの品質の向上を確保するため、外部への委託を活用しながら開発を進めることとし、新たな内部要員の確保は実施しなかった。

### ■ 事業活動

研究開発：今回は、科研費等の競争的資金の獲得はできなかった。

製品開発：新プロダクトはオープンソースソフトウェアを基本とし開発投資を実施した。

受託業務：受託業務の規模は、前期に比較して拡大することができた。

業務撤退：Apple Storeなどで配信していた CHiLO Book は撤退し、新たなバージョン(CHiBi CHiLO)への移行を進めた。

## 3. 事業結果詳細

### 1. インターネットを活用した教育機関の教育連携を実現する支援

本事業では、主として教育機関が運用する eラーニングシステムの運用保守の受託業務を実施した。主な実績は以下の通りである。

#### ■ 帝塚山大学へのサービス

新型コロナウイルスパンデミックが引き続いていることに伴い、帝塚山大学の eラーニング利用は拡大している。事業規模は例年程度を維持することとなった。

#### ■ 大阪教育大学へのサービス

大阪教育大学が開始した、オープンエデュケーション事業にたいし、LMS(Moodle)および CHiBi-CHiLO システムを提供し、その運用保守を行った。

#### ■ KAGAC へのサービス

KAGAC 事務局業務は、2021 年度は競争入札を実施しなかったため、受託は発生しなかった。なお、教員免許状更新講習の見直しに伴い、KAGAC は 2021 年度を以て終了する見込みである。

#### ■ その他の教育機関へのサービス

国立情報学研究所が採択された、光・量子飛躍フラッグシッププログラム(JST)について、東京大学、九州大学、慶応大学の学生に対するオンライン講義配信の支援業務を実施した。

### 2. eラーニングのためのコンテンツ・ソフトウェアの制作と流通を促進する事業

本事業では、主として教育機関が提供するオンライン教育のコンテンツ制作の受託業務を実施した。今期は、新たなプロダクトとして、CHiBi-CHiLO がプロダクトリリースしたため、主に、ビデオ教材を CHiBi-CHiLO として制作する支援を行った。

#### ■ KAGAC へのサービス

KAGAC については事務局業務の受託は発生しなかったが、コンテンツ制作については、15 期に引き続き実施し、4 機関のビデオ教材を CHiBi-CHiLO として制作した。

#### ■ 大阪教育大学へのサービス

大阪教育大学が推進する、オープンエデュケーション及び教員免許状更新講習のビデオ教材を CHiBi-CHiLO として提供した。

#### ■ CHiBi-CHiLO

旧来のサービスとの置き換えを図った。Apple Store などに配信している CHiLO Book については、配信終了し、サービス規模を縮小した。それに伴い、CHiLO Book の CHiBi-CHiLO への置き換えを開始した。

### 3. e ラーニングを活用した教育手法の調査研究事業

---

本事業では、主としてオンライン教育に関するシステムの研究開発を他機関から受注することで、実施した。主な実績は以下の通りである。

#### ■ CHiBi-CHiLO

国立情報学研究所、大阪大学、熊本大学からの開発業務委託として、CHiBi-CHiLO に、ビデオ視聴解析機能追加、一括登録機能追加、LTI1.3 と対応なった。これにより CHiBi-CHiLO は、LMS の外部ツールとして、一程度の機能を有したプロダクトとなったと考えられる。

#### ■ CHiLO-Speech

国立情報学研究所の委託により、CHiBi-CHiLO と連携し、ナレーション原稿付きのパワーポイントから音声合成ビデオ教材を作成する Web アプリケーション、「音声合成ビデオ教材作成システム」を開発し、CHiLO-Speech として、オープンソースソフトウェアで公開した。

#### ■ 顔認証システム

Azure Face API を利用した顔認証システムのプロトタイプを自己資金により開発した。本システムについては、準備が整い次第、オープンソースソフトウェアで公開予定である。

#### ■ 競争的資金の獲得

科研費等の競争的資金の獲得はできなかった。

### 4. 連携、助言または援助の活動事業

---

本事業では、新型コロナウイルスパンデミックの拡大を考慮し、シンポジウム開催を見送り、他の機関の学会等事務局支援事業に集中する事とした。

## ■ 学会事務局

第 16 期については, 大学 e ラーニング協議会 (UeLA) の事務局業務に加え, 同協議会のオンラインシンポジウムのサポート, 日本教育工学会のオンライン学会のサポートを実施した.

以上